

歴史・文化セミナーのご案内



2023年5月～7月

※セミナーのお申込みの受付は、4月1日(土)から開始します。

5/20
(土)

奈良県(天理・吉野)の近代建築 一知られざる武田五一の作品を中心に一

奈良県は古代・中世建築のメッカとして知られるが、明治以降は他府県とは異なり、和風スタイルをベースとした異色の洋館が建設されてきた歴史がある。そこにはアールヌーボーやセセッションといったヨーロッパ世紀末の意匠が和風の意匠と融合して、どこにもないような建築が生まれていた。ここでは、そのことが顕著な天理・吉野というふたつの個人的な町の建築を取り上げ、武田五一や岩崎平太郎という建築家をおとして、その意味を解説する。

【講師】京都華頂大学
教授 川島 智生

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

6/3
(土)

坂上田村麻呂 ～北方の王者～

平安時代初期、桓武天皇が行った東北経営(征討事業)を成功に導いたのが、征夷大將軍に任じられた坂上田村麻呂である。田村麻呂の働きによって、のちに軍事権を握るためには征夷大將軍となるのが不可欠となったが、その生涯は謎に包まれ、田村麻呂伝説が各地に伝えられている。田村麻呂はどのような人物であったのか、資料を読み解きながら実像をあぶり出してみたい。

【講師】京都女子大学
名誉教授 瀧浪 貞子

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

7/1
(土)

平安京の貴族邸宅を考える 一発掘調査からみた寝殿造邸宅の源流一

平安時代の貴族邸宅として、「寝殿造」が有名です。ただ、文献史料や建築史から想定されている典型的な「寝殿造」の邸宅は、発掘調査で未だ確認できていません。そもそも、平安京に遷都した当初の邸宅はどのようなもので、「寝殿造」邸宅とどのように結びついていくのでしょうか。ここでは、発掘調査で明らかになりつつある平安時代の貴族邸宅の変遷について、摂関期から遡ることで平安京の貴族邸宅の実態に迫ってみたいと思います。

【講師】近畿大学
教授 網 伸也

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

※各講座とも、当日の教室での受付は講座開始の30分前からです。

※価格は、消費税・設備費を含んだ税込価格を表示しています。

近畿文化会会員様は、
会員カードご提示で会員価格にて承ります。

WEBでご予約から入金までできるようになりました
お問合せ・お申込みは 近鉄文化サロン阿倍野

(06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階
[受付時間]10:00～19:00
(日曜日10:00～17:00)
※休業日・4/29(土・祝)～5/5(金・祝)は、受付業務を
休ませていただきます



【受講のお申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入金手続きをお済ませください。
- 近鉄文化サロンホームページからご入会・ご入金いただけます。
※入会金無料で会員登録でき、会員価格でご受講いただけます。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。
※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこと
もございます。

